



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

会長メッセージ

ジャンボ！（こんにちは！）ケニア稲門会会長の四倉佐知夫です。
ケニアといえば、広大な大自然と野生動物、卓越した陸上競技のアスリートなどを思い浮かべる方が多いと思います。日本からはちょっと遠いですが、ナイロビは標高1,800メートル近い高地に位置し、年間を通して気温は20度前後、快適な気候の近代都市です。
このたび、ケニア在住、駐在の校友が中心となりケニア稲門会を設立しました。この機会に実

体験に根ざしたケニアの魅力、皆さまにお伝えしたいと思います。
今、ケニアにいる邦人は約800人で、政府、企業、国際機関、NGOなどで同国との重層的な友好関係を築いています。もちろん、その中では早稲田の校友もたくさん活躍しています。私たちケニア稲門会は、ケニア、そしてアフリカと日本の架け橋になっていきたいと考えています。
四倉佐知夫(1983年商学)

会員からのメッセージ

こんにちは。日本支部長の野田光地です。
2016年9月のある日、JICAケニア事務所前で早稲田大学卒の同僚らと話す中、ケニア在住の校友で集おうという提案が出て、それが切っ掛けとなってケニア稲門会が設立されました。当方の帰国後、残った皆さんがしっかりと登録稲門会の手続きまで持って行ってくださいました。遠いアフリカ、ケニアの地にあっても、同じ「理想の光」を仰ぎながら、稲門のつながりが受け継がれていくことを期待しております。
野田光地(1989年政経)

に加われる機会も少ないですが、ここルワンダで、ケニアに負けないうらい本会を盛り上げていきたいと思っています。千の丘の国・ルワンダでも、ケニア稲門会活動中です！
黛 正伸(1994年理工)

私は当地で留学生プログラムに携わっています。他のアフリカ諸国にも増して、ケニアからも多くの留学生が訪日し、早稲田に学ぶ人もいます。そして、彼ら有志はKakehashi Africa (<http://kakehashiafrica.com/>)という全アフリカ横断のネットワークを設立しました。その本部はナイロビにあります。これからも、日本とケニア、アフリカの架け橋として、日本人、アフリカ人ともにワセダの校友が活躍していくことを祈っております。
伊藤正芳(1997年政経)

先日、ケニア三田会との「早慶会」に初めて参加させていただきました。日本から遠く離れたケニアの地で、まさか早稲田の方々となつなげられるとは思っていませんでした。年次や業種は違えど、同じ早稲田というだけでやはり通じるものがあり、こちらでの生活の励みになります。
ケニアでの生活は不便なことも多々ありますが、気候は最高！ケニアに駐在される際は、ぜひケニア稲門会へご入会ください。
脇田祐子(2009年文学)

ケニア稲門会について

2001年に「ナイロビ稲門会」が発足し、ケニアを訪問された森首相(当時)をお迎えしました。その後、ケニア在住の校友で稲門会登録の機運が高まり、16年から「ケニア稲門会」登録準備を開始。17年に、サハラ砂漠以南アフリカ唯一の登録稲門会として発足し、名誉会長には前身のナイロビ稲門会会長の小林俊一が、会長には四倉佐知夫が就任しました。会員は、ケニア在住の後、他のアフリカ諸国に移る者もあり、現在ルワンダやガーナなどにネットワークを持っています。また、本年からはケニア三田会とも連携し「早慶会」を開催しています。
伊藤正芳(1997年政経)



ケニア三田会との「早慶会」(2018年)

ケニアの魅力

ケニアといえば思い浮かぶのは豊かな自然、ビッグ5と呼ばれるライオン、アフリカゾウ、パファロー、ヒョウ、サイといった動物たち、その恵みを楽しみながらたくましく生きるマサイの勇者たち、標高2,000メートルを超えるエルドレッドの地で鍛え上げられたマラソン選手たちでしょうか。
首都ナイロビにも国立公園がある観光資源に恵まれたこの国は、それだけで私たちの心を強く引きつけます。しかし、ケニアの魅力は観光だけではなく、東アフリカ共同体(EAC)の中でも最大の経済規模を誇り、経済成長率は近年5パーセント前後と好調。首都ナイロビは東アフリカ最大のビジネスハブであり、またインド洋岸のケニア第二の都市モンバサは、内陸部につながる北部回廊の物流の起点です。
2016年にはナイロビにて、第6回アフリカ開発会議が開催されました。アフリカ大陸で初開催でしたが、平和裏に行われました。この開会時、安倍首相はスピーチで「自由で開かれたインド太平洋戦略」を掲げました。アフリカ大陸南東部インド洋岸は、この「インド太平洋戦略」の経済圏の西端に当たります。来る19年には、第7回が横浜にて開催されます。
伊藤正芳(1997年政経)



(上)政府・金融機関などが集まる新ビジネスエリア
(下)ナイロビの摩天楼を望む国立公園のライオン



登録稲門会になる前の会合での記念撮影(2016年)